

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587010503	科目番号 / Subject code	05870105
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12711_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動c (国際社会と日本経済) / International Societies and Japanese Economy		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	青山 繁 / Aoyama Shigeru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	青山 繁 / Aoyama Shigeru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	青山 繁 / Aoyama Shigeru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2, 3, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	授業の時に伝達する		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館602		
担当教員TEL/Tel	授業の時に伝達する		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日16:30?17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	開発途上国が抱える問題とそれへの対応について理解を深める。その過程で多くの知識を習得して 自分の頭で考え表現する能力を養う。		
授業到達目標/Goal	授業で習得した知識や視点から開発途上国の経済発展について自分なりの考察ができること。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業のねらいを達成するため、テキストおよび配布資料を基に、教員ができるだけ受講者と問答し ながら授業を進める。これをスムーズに行うため、受講者は事前にテキストまたは配布プリントを 予習することを求められる。また、授業への貢献度を成績評価に反映させる。具体的には、的確な 答え、よい意見や質問があったときにその人に点数を与えていく方式である。したがって、授業へ の積極的な姿勢が期待される。		
授業内容/Class outline/Con	なぜ豊かな国がある一方で貧しい国があるのか、また貧しい国は豊かになる可能性があるのか、と いうことについて、近年重視されている制度的・文化的側面からのアプローチを行う。そして、具 体的なケーススタディとして、ラテンアメリカ、アジアのこれまでの経済発展の軌跡と今後の行方 に関して、主として制度的・文化的側面から分析を行う。  1 オリエンテーション、基礎的事項の説明 2 既存の発展理論のレビュー 3 テキスト第1章 4 テキスト第3章 5 テキスト第4章前半 6 テキスト第4章後半 7 テキスト第5章 8 テキスト第9章前半 9 テキスト第9章後半 10 テキスト第10章前半 11 テキスト第10章後半 12 テキスト第11章 13 復習と総括 14 復習と総括 15 復習と総括		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	経済発展、制度、文化、長崎県		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	(テキスト) T・J・イエーガー 『新制度派経済学入門--制度・移行経済・経済開発』 東洋経済新報社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験(95点)と授業への貢献度(5点)による。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	初歩的な説明から始めるので、予備的な専門知識は不要。予習に各回1?2時間を必要とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	
第2回	
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	
第13回	
第14回	
第15回	
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587011702	科目番号 / Subject code	05870117
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12741_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動c (社会制度と経済活動) / Social System and Economic Activity		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 尚志 / Yamashita Takashi, 青山 繁 / Aoyama Shigeru		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 尚志 / Yamashita Takashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 尚志 / Yamashita Takashi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tyamashita nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部・東南アジア研究所3階318研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日10:00?12:00(要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	租税は経済を含む社会全般と深く関わっている。税制改正に関する議論などを通して経済社会問題を理解する。		
授業到達目標/Goal	税制改正の背景となっている経済社会問題について説明することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	この授業では、座学で税制に関する基礎的な事項を学び、その後、グループで税制改正事項などを調査・評価し、その内容をプレゼンテーションする。		
授業内容/Class outline/Con	授業15回の内訳は、座学は6回、グループワーク(調査、意見交換、プレゼンテーション資料作成など)6回、プレゼンテーション(発表会)3回を予定しているが、事情により変更することもありうる。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	税制について関心をもったテーマについて、新聞記事や該当する法律の条文などを確認し、制度を取り巻く環境変化などを把握する。		
キーワード/Key word	税制改正、公平、中立		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	グループワーク貢献度(出席含む)30%+プレゼンテーション(発表会)40%+レポート30%。定期試験は行わない。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	情報収集やプレゼンテーション資料作成のため授業にはノートパソコンを持参してください。		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1			

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/02/05		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587012102	科目番号 / Subject code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動c (経営情報と会計情報) / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	岡田 裕正 / Hiromasa Okada, 青山 繁 / Aoyama Shigeru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医・歯・工・環境科学		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-okada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部東南アジア研究所3階307室		
担当教員TEL/Tel	352		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	現代の企業経営を理解するための一助として、本講義では、ビジネス言語とも言われる簿記・会計の基礎を学ぶことを目標とする。具体的には、日本の企業会計制度の紹介、簿記の概要、企業の成績表ともいわれる財務諸表の主な項目の意味等を講義する。		
授業到達目標/Goal	日本の会計制度の概要、財務諸表の主な項目の意味等を知り、それを通じて財務諸表を理解できること		
授業方法 (学習指導法) /Method	テキストを用いて講義するが、毎回多くの学生に発言を求める。このため、講義中に学生同士の議論の時間を設けるなどの工夫をする。		
授業内容/Class outline/Con	大まかな講義の概要と毎回のテーマは授業計画に示すとおりである。ただし、あくまでも予定であり、変更する可能性はある。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	第2回目の講義にあたり、LACSに掲載する簿記の概要を事前に読んでくること。 また、第1回目の講義で指示するが、各自がダウンロードした財務諸表を教材とするので、PCまたは印刷媒体で毎回持参すること。		
キーワード/Key word	貸借対照表、損益計算書、資産、負債、純資産、収益、費用、損益		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	今のところテキストとして下記のものを使用予定である 永野則雄『ケースブック会計学入門(第4版)』新世社、2014年刊 教材 必要に応じて配布するほか、第1回目の講義で指示した財務諸表も教材とする		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	講義への貢献(発言等)40%、テスト(またはレポート)60% 具体的には第1回目の講義で説明		
受講要件(履修条件)/Requirements	特に設けないが、数字を見るのは嫌いという学生は、受講を控えてもらいたい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	本講義の担当者が急きょ交代となったため、モジュールガイドブックに記載の内容と変更していることに注意すること。 経済や企業について関心のある者、自発的・積極的に学習を進めていく意欲のある者の受講を希望する。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション：身の周りの会計と本講義で対象とする会計		
第2回	簿記の概要：企業会計の技術的基盤である簿記一巡の流れを知る		
第3回	日本の企業会計制度の概要：企業会計の制度的基盤である会社法、金融商品取引法、法人税法、企業会計基準の概要を知る		
第4回	財務諸表の概要：貸借対照表(B/S)と損益計算書(P/L)の構成を知り、大雑把な読み方を理解する		
第5回	会計の基礎概念：購入した資産の金額の決め方、収益や費用をいつ認識するかなど		

第6回	資産会計1?棚卸資産：商品と製品の違い、期末に売れ残った商品等をいくらとするか（これを通じて、利益は一意には決まらないことを知る）
第7回	資産会計2?固定資産：流動資産と固定資産はどうやって区別するか、減価償却の方法等を説明（ここでも、これを通じて、利益は一意には決まらないことを知る）
第8回	資産会計3?有価証券：会計上の有価証券の意味と保有目的に応じて金額の付け方が違うことを知る
第9回	負債会計?引当金：引当金の意味と種類を知る
第10回	現在の会計の基礎理論とその変化：今の日本の会計の基礎となる費用収益対応の原則を通じて、なぜ期末の売れ残りの商品を資産とするか、減価償却をするか、引当金が必要かを考える。他方で、それとは異なる国際財務報告基準（IFRS）についても紹介する。
第11回	純資産会計：貸借対照表の純資産の部の構成要素の意味を知る
第12回	収益・費用の会計：収益と費用の認識基準（実現主義（原則）と発生主義（原則））を理解する。これを通じて、収入 収益、支出 費用であることを理解する
第13回	企業集団の会計：子会社・関連会社の範囲と連結財務諸表の概要を知る。これを通じて、一口に「企業集団」というけれど、これに入る企業とそうでない企業を区別する基準を知る
第14回	財務諸表の見方1：収益性分析として、売上高利益率、資本回転率、資本利益率
第15回	財務諸表の見方2：安全性分析として、自己資本比率、流動比率
第16回	全体の総括